

名古屋港



の整備拡充に関する
要望書



平成 28 年 11 月

知
愛名 古屋 県市合
名古屋港管理組合
名古屋商工会議所
(一社)中部経済連合会

要　　望

名古屋港の整備拡充につきましては、日ごろから格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

本港は、平成27年の総取扱貨物量が1億9,800万トンと14年連続、貿易黒字額が6兆700億円と18年連続日本一を記録し、国際戦略港湾とも肩を並べる高い実績のある港です。

今後も、日本経済の活性化とさらなる成長に向け、**国際産業戦略港湾として、物流機能の国際競争力及び産業競争力を強化し、高付加価値を産み出す中部圏のモノづくり産業を物流面で支えるため、既存施設の有効活用と新たな港湾整備を効果的に組み合わせることにより、コンテナ・完成自動車等を取扱う総合的な港湾として機能強化を図っていく必要があります。**

また、防災面においては、南海トラフ巨大地震等の大規模災害に対する防災・減災対策として、**国土強靭化の取組みを進めるとともに、港湾施設及び海岸保全施設の老朽化対策の推進による安全・安心な港づくりが不可欠です。**

さらに、交流面においては、水質改善等による良好な水辺空間の形成により都心と一体となった親しまれる港づくりが重要となっています。

これらの施策を着実に推進し、**生産性向上を導くストック効果を最大限に発揮させるため、地域として全力を挙げてまいりますが、国のご理解と更なる重点支援が不可欠です。**

つきましては、**港湾整備及び海岸整備予算の十分な確保とともに、必要な施策の推進に対して、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。**

平成28年11月

愛　　知　　県　　知　　事	大　　村　秀　章
名　　古　　屋　　市　　長	河　　村　たかし
名古屋港管理組合管理者 愛知県知事	大　　村　秀　章
名古屋商工会議所会頭	山　　本　亞　土
(一社) 中部経済連合会会长	豊　　田　鐵　郎

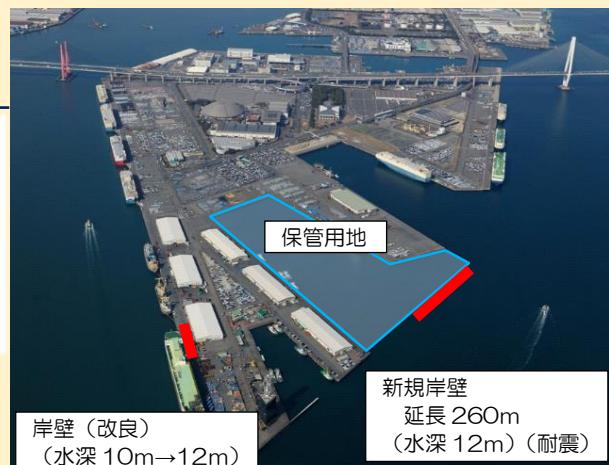
1. 國際競争力及び産業競争力の強化と 港湾物流の環境変化に対応した港づくり

我が国経済を牽引する自動車産業、工作機械産業、航空宇宙産業など中部圏の基幹・次世代産業の競争力を強化し、地域経済や雇用の面でストック効果が最大限に発揮できるよう物流機能強化を着実に推進すること

中部圏の基幹・次世代産業を支える 名古屋港の2大リーディングプロジェクトの推進

金城ふ頭地区の 完成自動車取扱機能の強化

完成自動車取扱機能の集約・拠点化や、船舶の大型化に対応するため、新規耐震強化岸壁の整備と保管用地の造成を行う。



飛島ふ頭地区の コンテナ取扱機能の強化

東南アジア向け貨物量の増加、船舶の大型化に対応し、物流の更なる効率化を図るため、既存の水深12m岸壁を水深15mの耐震強化岸壁に増深改良を行う。

2. 大規模災害や施設の老朽化に対応した安全・安心な港づくり

地域の産業にとって安全・安心を備えた港湾を実現するため、総合的な防災機能の強化や予防保全の観点を踏まえた施設の老朽化対策を促進すること

海岸保全施設の地震・津波対策

切迫する南海トラフ巨大地震等の大規模災害に対し、名古屋港の防災機能を強化するため、海岸保全施設の地震・津波対策を図る。



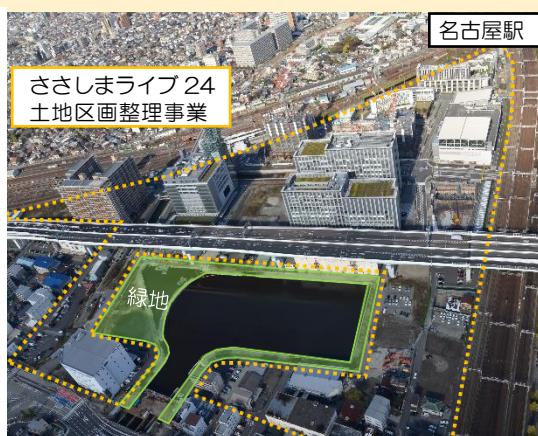
防潮壁の地震・津波対策

3. 環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり

都市と一体となって、水・緑・生き物に親しめる水辺空間を形成するため、緑地の整備や水質改善施策を促進すること



中川運河の水循環



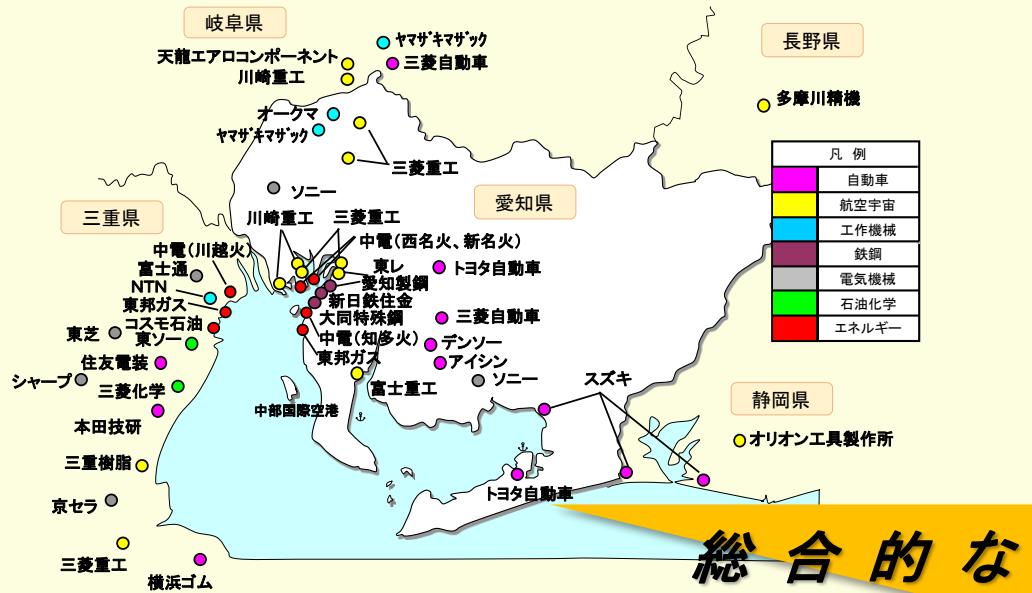
中川運河(堀止地区)

中川運河の緑地の整備及び水質改善施策の促進

中川運河に魅力ある水辺空間を形成し、交流の場を創出するため、緑地の整備や水質改善に向けた取組みを行う。

生産性向上を導く名古屋

○背後圏には、基幹・次世代産業である「自動車」、「工作機械」、「航空宇宙」等の主要メーカーが多数立地



総合的な

取扱貨物量・貿易額等が大幅に増加

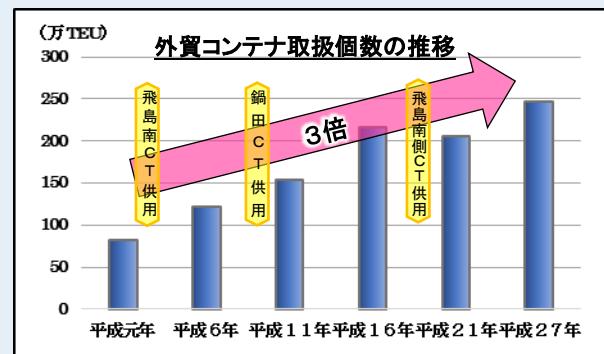
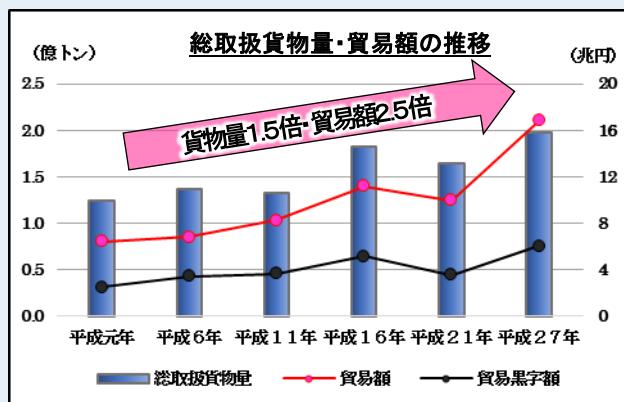


写真:左「自動搬送台車(AGV)」
右「遠隔自動トランクスフーカーレーン(RTG)」



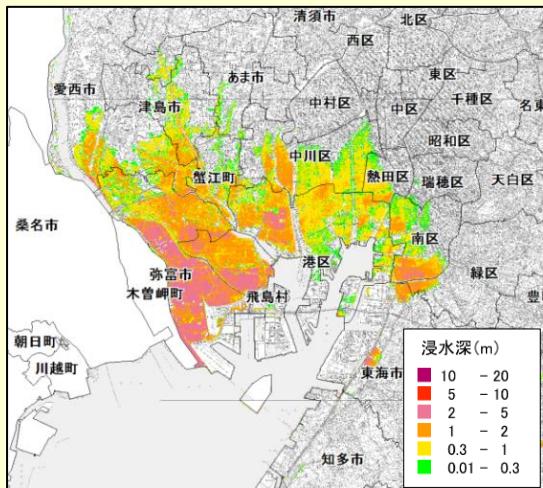
既存施設を活かした 港湾整備を推進し、

屋港のストック効果

○名古屋港と背後圏を結ぶ
充実した道路ネットワーク

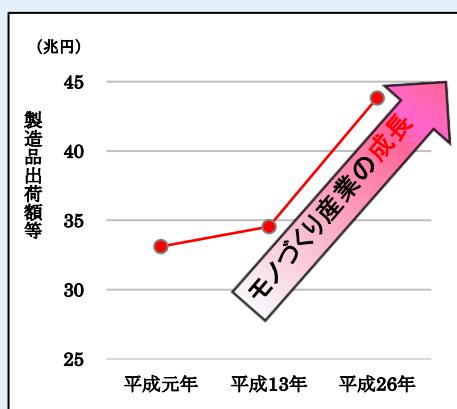
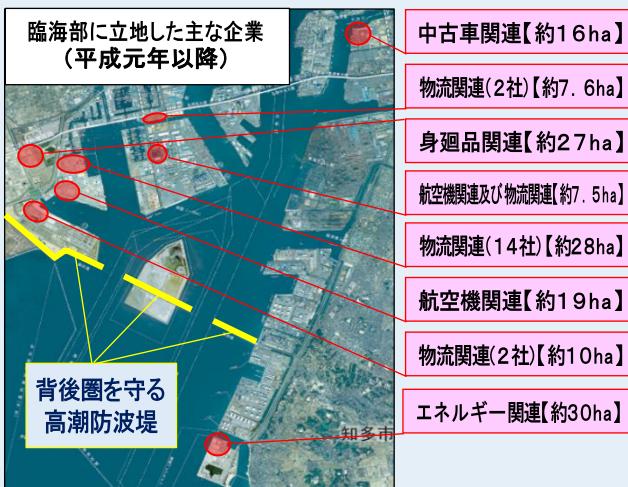


○切迫する南海トラフ巨大地震等
による津波被害予測



港湾の整備

港内への企業立地と背後圏のモノづくり産業の成長



出所：経済産業省「工業統計(産業編)」

中部圏の経済成長を支え 生産性向上 を導く

名古屋港港湾計画図

平成 27 年 12 月改訂

